

# 授業改善のポイント 第6学年

## 目的や意図に応じて情報を収集・解釈し、選択する力を付ける

たくさんの資料の中から、必要な情報を的確に選び出す力を付けていきましょう。軽重をつけて目的的に読む態度を育むために、次の3つのステップを子どもが意識できるよう、指導しましょう。

### 【①見通しをもつ】ステップ

たくさんの資料の大体をつかむには、どんなことに目を付けて読んだらよいか？

《表やグラフ》

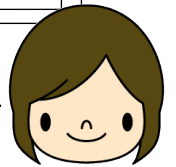
- 1) タイトル
- 2) 凡例
- 3) 数値
- 4) 数値の変化

《お話》

- 1) タイトル
- 2) 各段落の始めの言葉
- 3) 数値などの内容

※ ステップ①では、3)、4)は、詳しく読まず、どこに書いてあるか確認する程度にする。

大きな情報から目を通し、必要があれば、徐々に細かい情報を読んでいけばよいのだな。



### 【②資料を読む目的を把握する】ステップ

どんなことを伝えるために、資料を使うのかな？（目的は何だろう。）

【問い四】：特に「共助」が大切だということをパンフレットで地域の方に伝える

【目的】：「共助」のよさが分かる資料を探す！

目的を明確にとらえるために、問題文に着目することを習慣化したいですね。



### 【③目的に照らして資料を読む】ステップ

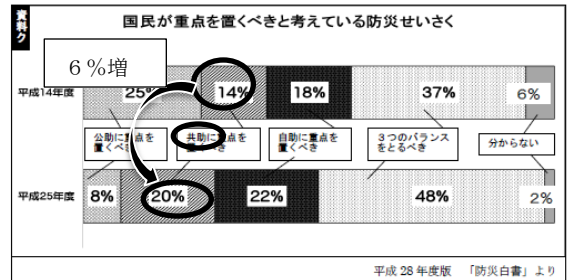
資料のよさを使うためには、どんなことに注目して読むとよいのだろう？

(例) ここでは、3)や4)まで読む。問題始めの文章には「共助」に関する定義や情報が述べられている。この時に、「共助」の部分に線を引くなどし、「共助」についての理解を深める。

【問い四】：特に「共助」が大切だということをパンフレットで地域の方に伝える

【目的】：「共助」のよさが分かる資料を探す！

目的を明確にとらえるために、問題文に着目することを習慣化したいですね。



ここでは、3)や4)まで見る。「共助」に関する数値の変化等を捉え、書き込み等をする。

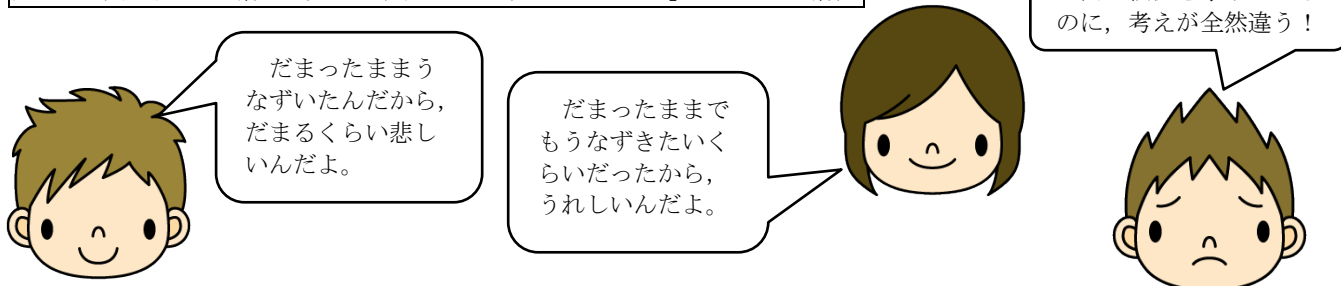
数字の変化や「共助」の情報に、印や線でマーキングや書き込みをするとよいのだな。



## 論理的に思考する力を付ける

より論理的に説明するために、「根拠（事実）」と「理由」、「考え」を区別できるようにしましょう。この区別をもとに、「中」の記述を構成させます。

例：登場人物の心情を考える場面で…（「ごんぎつね」ごんの心情）

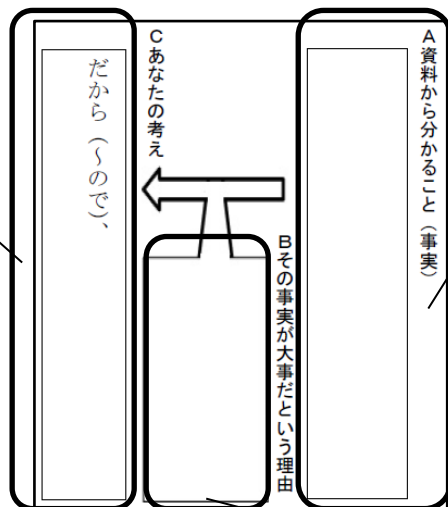


このように、同じ根拠で考えが違うのは、理由が違うため。そこを表出させる必要があります。

「根拠（事実）」「理由」「考え」を区別して、考えよう。

### 【考え】

「根拠（事実）」と「理由」から導かれる結論のことです。発言の際に、結論を先に述べる指導などで、はっきりと意識するようにすることができます。



### 【根拠（事実）】

本文の言葉そのままや、資料の数値そのものです。  
※ここに、「理由」を付け足してしまいがちです。しっかりと区別するようにします。

### 【理由】

本文の言葉や、資料の数値がどうして大事なのか、どのように「考え」に結び付くのか、自分の経験や知識と比べて考えたことです。



こういう図なら、「根拠（事実）」と「理由」、「考え」を視覚的に区別することができるね。

授業では、「根拠（事実）」だけを発言したら、「理由はどんなこと？」と「理由」を引き出すといいですね。また、「書くこと」の学習にこのような図を使って「中」の書き方を構想させると、整理して考えられてよいですね。



# 説得力のある文章を書く力を付ける

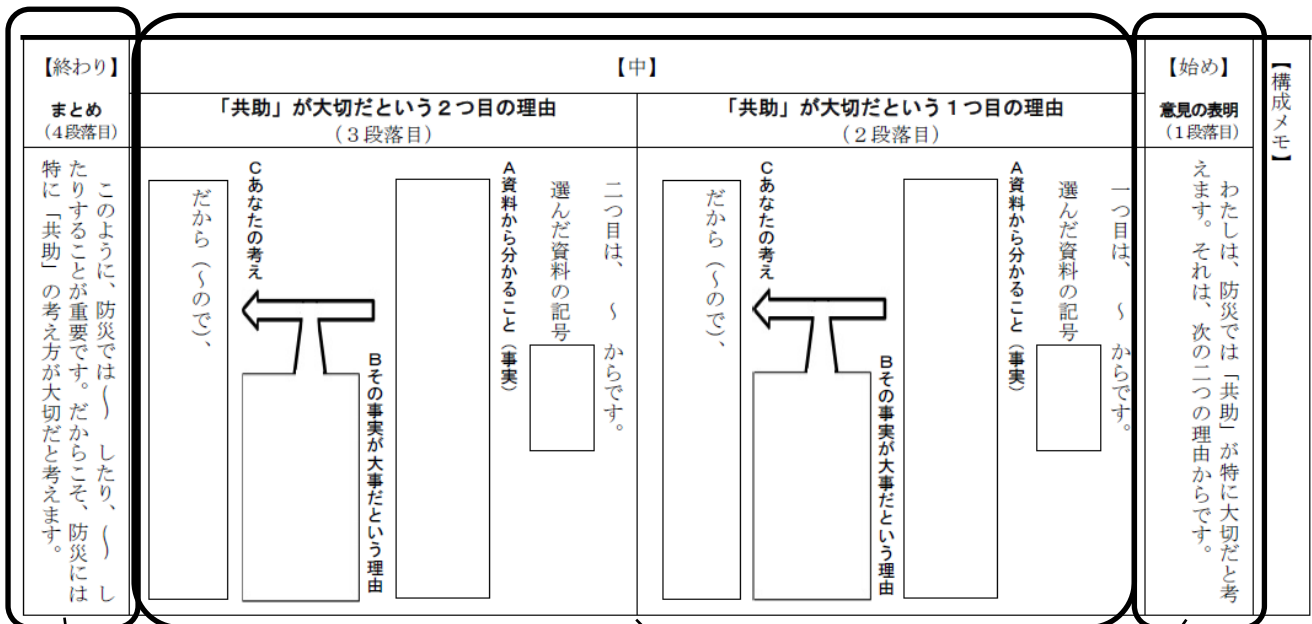
資料を読み取る力とともに、自分の考えに説得力をもたせて表現する力は、とても大切です。下の  
ようなことを指導することで、より伝わりやすい文章を書く力を育みましょう。

## ①：段落の役割を理解し、全体の構成を押さえる。

「始め-中-終わり」の段落は、どのような役割をもっているだろうか？



まずは、6 学年であっても、「始め-中-終わり」の基本段落の役割を確認しましょう。  
下のような構成表を利用するとよいですね。



「終わり」：まとめ・筆者の主張  
→結論を伝える。

「中」：説明・例示・答え  
→自分の主張が大切だということの説明(資料からの例や根拠を基に述べる。)

「始め」：話題提示・問題提起  
→どんなことについて、どんな立場で述べるか伝える。


書く前に構成を設計図にできると、考えが整理しやすいな。



②：「中」の書き方を指導する。

「中」はどのようなことを工夫して書くとよいだろうか？

<p>自助が大切な1つ目の理由</p> <p>【中】の1つ目</p> <p>が大事だからです。資料ウでは、防災の対 くをしない理由に「特に理由がない」の 二十八パーセントもいました。でも、自分 族でひなん場所を考えたりしておけば、い どいつか助けがなくても困りません。だ から、大切なことを大事にすればよいと思 います。</p>	<p>① <b>トピックセンテンス</b>： その段落の内容をトピック（一言）で表す。</p> <p>② <b>根拠（事実）</b>：内容を裏付ける資料とその重要な数値などを示す。</p> <p>③ <b>理由</b>：その事実にどんな重要な意味があるのか解説する。</p> <p>④ <b>考え</b>：その段落の結論を述べる。</p>
--	---



「中」は、この4つの内容で書いていくと、いいんだね。


③：まとめ（「終わり」）の書き方を指導する。

<p>自助が大切な2つ目の理由</p> <p>【中】の2つ目</p> <p>とが大事だと思ふのです。</p>	<p>自助が大切な1つ目の理由</p> <p>【中】の1つ目</p> <p>です。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「まとめ」はどのように書くとよいだろうか？</p> </div> <p><b>A</b>： 「中」の一つ目と「中」の二つ目のトピックを抜き出させます。</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">↓</p> <p><b>B</b>： 「このように」の後、抜き出したトピックを、「～たり～たり」でくっつけます。</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">↓</p> <p><b>C</b>： 「だからこそ」で、最終結論につなぎ、「中」の内容と意見とを短くまとめ、読み手に印象を残します。</p>
--	---	--


文章のまとめ【終わり】

このように、防災では、

地域のために自分から行動したりすることが、重要なんです。だからこそ、防災には特に「自助」の考え方が大切だと考えます。



まとめ（「終わり」）は、単なる「始め」の繰り返しではなく、「中」の意見と関わらせて結論を書くんだね。



6学年では、15分で370字程度を書けるとよいですね。

このように、記述の指導では、例文をもちしながら、書き方を丁寧に指導しましょう。県・市小教研の調査問題が大いに活用できますよ。